



ぐんぐん すくすく！相生っ子！

住所 相生市緑ヶ丘 4 丁目 5-5

電話 0791-23-5070 FAX 0791-22-7211

E-mail ikusei-aioi@bz03.plala.or.jp

◆『いじめ防止サミット』を開催しました。 <8月26日(月) なぎさホール中ホールにて>

昨年までは「ケータイスマホサミット」としていましたが、今年から「いじめ防止サミット」と名称を変更し開催しました。市内小学生14人、中学生9人、そして小中学校の先生や指導主事の14人も加わり、兵庫県立大竹内教授の指導のもと、8人の大学生のサポートを受けて開かれました。

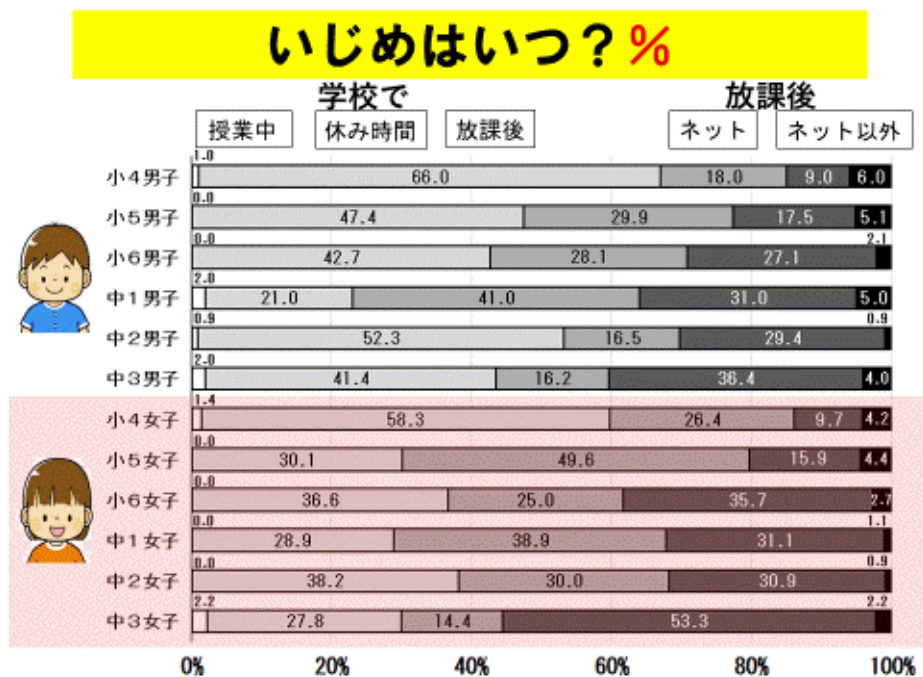
まず、アイスブレイクで話しやすい雰囲気を作り、その後、事前のアンケート結果を聞き、問題点を確認し、最後に「先生へ」「親へ」「相生市へ」「自分へ」の提言をまとめました。

3時間にわたり、互いを知り、一緒に考え、自主的に発言し、他の考えを聞き、またさらに考える、といった具合に、見ていても大変中身の濃い時間でした。

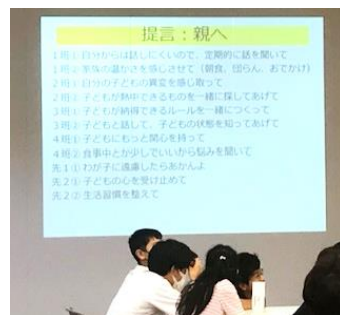


竹内教授からアンケート結果を聴く

<アンケート結果より>



大学生のリードで話し合う



みんなで提言を考える

<「提言」より>

◇親へ

- ・定期的に話を聞いて
- ・家族の温かさを感じさせて
- ・子どもの異変を感じ取って
- ・熱中できるものを一緒に探して
- ・納得できるルールを一緒に作って
- ・子どもの状態を知って
- ・子どもにもっと関心を持って
- ・悩みを聞いて(食事中でも)
- ・我が子に遠慮しないで(先生グループ)
- ・子どもの心を受け止めて(先生グループ)
- ・生活習慣を整えて(先生グループ)

◇先生へ

- ・いじめ対応は個別でして
- ・子どもの話をしっかり聞いて
- ・子どもの意見に寄り添って
- ・相談しやすい環境を作って
- ・匿名でも相談できるようにして
- ・加害者、被害者両方の視点で
- ・匿名でも相談できるシステムを作って
- ・いじめの時、どうしたら良いか教えて
- ・教職員のチームワークが大切(先生グループ)
- ・子どもと向き合う時間を増やしていこう(先生グループ)
- ・保護者と情報を共有し、連携しよう(先生グループ)

「いじめ防止サミット」の様子のほんの一部を紹介しました。今回のサミットの内容とその後の各学校での取り組みについては、来年1月26日(日)開催予定の第44回相生市健全育成市民大会の場で参加生徒代表に発表してもらう予定です。

また、アンケート結果についても、市民大会冊子に掲載する予定です。

「一所懸命」

一つの所に力を集めて
がんばることを
「一所懸命」という
指の先の小さい力でも
針の先の一点に集まると、
固いものを貫く力になる
君の力を一点に集中して
がんばれば
どんなことだってできる

いのちを育てる教室

- 一 教師が、ひとりひとりの
子どものいのちにあふれて
いけるようになること。
- 二 子どもひとりひとりが、
教師のいのちにあふれて
くるようになること。
- 三 子どもひとりひとりが、
相互にいのちをふれあい、
どんな子どもも馬鹿にせず
されないようになること。
- 四 子どもひとりひとりが、
自分の尊さを大事にし
がんばる態勢になること。
- 五 子どもの父母たちが、
教室を信じ、
教師の仕事に協力する
態勢になってくれること。

【とおい・よしお】「いのちの教育」の探求に尽くした日本の教育者。兵庫県豊岡市但東町佐々木に生まれる。小学校教師として村を育てる教育を実践。ペスタロッツ賞、平和文化賞、小砂丘忠義賞、文部省教育功労賞受賞。

ようてんことば
「陽転言葉を使いましょう」

脳力開発研究家 吉野 邦昭

仕事で思うように成果を
上げられず、自信を持てず
にいた吉野さん。その人生
が一変するきっかけとな
ったのが「陽転言葉」でし
た。仕組みを理解し「陽転
言葉」を口癖にしましょ
う！

私はずっと自分に自信
がなくて、口下手で営業セ
ンスもありませんでした。
私がようやく変わったの
が、40代の時に参加した記
憶術のセミナーでした。
そのセミナーで教えても
らった「陽転言葉」を使う
ことで自分に自信をつけ
ることができたのです。

陽転言葉は脳を「快」の
状態にする簡単で最速の
方法です。

「陽転」の「陽」は、ポジ
ティブとかプラスなど、い
い部分ということです。
物事には必ずプラス面と
マイナス面があります。そ
のプラスのほうに視点を
転じる言葉遣いを「陽転言
葉」といいます。

例えば、あなたが財布を

落としたとします。

でも、たまたまATMで
お金をおろして財布に入れ
る前だったから、ちよつとホ
ッとしませんか。

財布を落としたという事
実は変わりません。でも、
「お金をおろす前だったか
らまだよかった」というこ
とは思えます。

「財布は落としたけど、お
金をおろす前だったからま
だよかった」と思うだけで、
脳は少し快になるのです。

「マイナスなことを先に言
って、その後『ちよつとで
もマシ』なことを言う」、こ
れが陽転言葉です。

日本では、「謙遜は美德」
とされます。

例えば、「吉野さん、学生時
代の成績はどうでした？」
と聞かれて、「暗記科目はダ
メだったけど、物理は完璧
でした！」と胸を張って自
信満々にいうと、相手は、

「何だか、こいつ、偉そう
な奴だな」と感じますよね。
だから多くの日本人が、
「国語はできたけど、数学
はダメだった」とプラス面
を先に言ってマイナス面を
後で言う。「陰転言葉」を使
って謙遜するわけです。

でも、この陰転言葉の使
い過ぎが、私たち日本人の
「自分への自信のなさ」に
つながっているんじゃない
か私は思っているんです。

ですから、自慢げに言う
のはちよつと社会性があり
ませんが、さらつと良かつ
た方の事実を後に言う陽転
言葉を提唱しているので
す。

「陽転言葉に変えると人生
が幸せになってきた。自分
に自信が持てるようになって
きた」「夫婦関係がよくな
った」という声をこれまで
たくさん聞きました。私も
そのうちの一人です。

ということで、自分に自
信を持つために、陽転言葉
を使いましょう。

